

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん にほんきじゅつきょうかい 公益社団法人 日本奇術協会		団体ウェブサイトURL https://www.jpma.net/
代表者職・氏名	会長 正木慎一		
制作団体所在地	〒 169-0073	最寄り駅(バス停)	JR総武線 大久保駅
	東京都新宿区百人町 1-20-3-402 バラードハイム新宿渡辺ビル		
電話番号	03-3361-5221		
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじん にほんきじゅつきょうかい 公益社団法人 日本奇術協会		団体ウェブサイトURL https://www.jpma.net/
代表者職・氏名	会長 正木慎一		
公演団体所在地	〒 169-0073	最寄り駅(バス停)	JR総武線 大久保駅
	東京都新宿区百人町 1-20-3-402 バラードハイム新宿渡辺ビル		
制作団体 設立年月	1936年12月		
制作団体組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	会長:正木慎一 副会長:小林 昭 常任理事:加藤明彦 理事:後藤尚美・渡邊奈月・北野隆義・中 崇 高岡若葉・土井宗雄 常任幹事:松下敏雄・佐藤元一・近藤哲司		【正会員】 この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 【準会員】 この法人の目的に賛同し2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。【賛助会員】この法人の事業を援助する個人または法人。【名誉会員】この法人に特に功労のあった者、学識経験者で総会の決議をもって推薦された者。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	小林 昭
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	伊藤利一
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	yokota@dm-c.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和11年12月 目黒雅叙園にて「第1回集会」 ●平成2年 12月3日を「奇術の日」と制定する。 ●平成5年3月 公益法人許可を得て「社団法人 日本奇術協会」となる。 ●平成9年5月 「和妻」が記録作成の措置を講ずべき無形文化財として採択される。 ●平成20年度 12月1日～3日の三日間「奇術の日普及活動」を実施。 ●平成24年 内閣府より「公益社団法人」の認定を受ける。 			
<p>学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年度 【本物の舞台芸術体験事業】Bブロック ●平成22年度 【子どものための優れた舞台芸術体験】Dブロック ●平成23年度 【次代を担う子どもの文化芸術体験事業】Iブロック ●平成24年度 【次代を担う子どもの文化芸術体験事業】Hブロック ●平成25年度 【次代を担う子どもの文化芸術体験事業】Eブロックに於いて「ベストマジックフェスティバル」公演を行う。 ●平成26年度 【文化芸術による子どもの体験事業】Jブロックに於いて「Magic of MAGIC-Compilation-」公演を行う。 ●平成29年 【文化芸術による子どもの体験事業】Jブロックに於いて「Magic of MAGIC-Compilation-」 ●平成30年度 【文化芸術による子供の育成事業】Cブロックに於いて「Magic of MAGIC-Compilation-」 ●令和元年 【文化芸術による子供の育成総合事業】Gブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC -Compilation-」公演を行う。 ●令和3年度 【文化芸術による子供育成総合事業】Aブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC-Compilation-」公演を行う。 ●令和4年度 【文化芸術による子供育成推進事業】Cブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC-Compilation-」公演を行う。 ●令和5年度 「舞台芸術等総合支援事業-学校巡回公演」Dブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC-Compilation-」公演を行う。 ●令和6年度 「舞台芸術等総合支援事業-学校巡回公演」Hブロックに於いて「夢と希望の創造空間Magic of MAGIC-Compilation-」公演を行う。 			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年度 横須賀市立養護学校・静岡県立沼津聴覚支援学校 ●平成24年度 高知県立山田養護学校・愛媛県立みなら特別支援学校 ●平成25年度 福井県立嶺北養護学校・京都府立八幡支援学校・京都市立鳴滝総合支援学校 ●平成26年度 宮崎県立延岡しろやま支援学校 ●平成29年度 栃木県立足利中央特別支援学校 ●平成30年度 長崎県立桜ヶ丘特別支援学校 ●令和3年度 北海道余市養護学校しりべし学園分校 にて上演の実績があります。 <p>※学校巡回公演と同様に出演者個人で障害保健福祉センターや特別支援学校等でも演じている奇術師(マジシャン)もおり、公演は実施可能です。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>DVDを提出します。</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	夢と希望の創造空間 Magic of MAGIC -Compilation-			
企画のねらい	<p>昨今、テレビやYouTube等の普及により映像ではマジックを身近に鑑賞出来るようになっております。しかしながらカード(トランプ)やコイン等を使った小さな空間のマジックばかりです。舞台やステージで本物の鳩や大掛かりなマジックを鑑賞する機会が殆どありません。特に都市部以外ではほぼ観る機会はありません。</p> <p>本事業を通して奇術(マジック)に限らず、本物の生の芸能・芸術に触れて児童・生徒が芸術を観る目を養い、さらにワークショップを通して人を引き付ける話術や芸の進め方、コミュニケーションのとりかた等を体験、実践することで単なるマジックの鑑賞を超えた教育の一環としての要素も取り入れ、さらに地方格差を無くしたいと思っております。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>上演するのは一般的に親しまれているマジック全般を大きくジャンル別に分類し、その中から抜粋した代表的な演目になります。これらの演目は学校の体育館や施設内の多目的ホールという限られた空間を劇場に仕立て、児童・生徒がマジックの持つ独自の「錯覚」「不思議」等を鑑賞・体験をし生の芸能・芸術に触れる喜びを味わってもらう事を主目的としております。同時にマジックを成立させる為の道具やネタ・話術・構成・演出等、総合的な実演芸能に繋がるものです。</p> <p>※クローズアップマジック(テーブルマジック)やメンタルマジック等、は鑑賞する人数に限られるため、当該公演の計画では演目に含まれておりません。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップでのテキスト教材を使った講習内容のマジックを児童・生徒が習得し、見せ方・演じる喜びを体験してもらいます。 ●「おしゃべりマジック」において出演者が積極的に観客と積極的に会話を交わす事により交流を深めます。 ●各出演者共トークのある場面では積極的に会話し交流を深めます。 ●「司会者」は一方的なトークにならず、児童・生徒と対話しつつ公演を進行させていきます。 ●児童・生徒代表による演技以外に全員参加型のプログラムを構成する事も可能です。(その場合には事前に用意していただく用品が必要となる場合があります) 			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	ワークショップにおいて全校児童・生徒	
		鑑賞人数目安	500名以上になると鑑賞位置によって集中力に温度差が出る場合があります。	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①【鳩のマジック】オープニングを飾るにふさわしい鳩が出現する華やかなマジックです。</p> <p>②【ジェネラルマジック】最もポピュラーでマジックの中でも技術を主体とした本格的な演技の神髄を鑑賞してもらいます。</p> <p>③【おしゃべりマジック】絶妙な話術で観客を巻き込む笑いを交えた明るく楽しいマジックです。</p> <p>④【児童・生徒による演技】ワークショップで習得したものを児童・生徒代表が実演。マジシャンとして演じる喜び、楽しさ、演じている友達を応援する嬉しさを体験してもらいます。</p> <p>⑤【和妻】日本古来の伝統奇術。日本でも古くから奇術(マジック)が演じられ鑑賞されてきました。現在でも立派な芸能とし通用する優れた舞台芸術を鑑賞してもらいます。</p> <p>⑥【イリュージョン】出現・消失・浮揚など大掛かりな演目でインパクトのあるラストにふさわしいマジック(大魔術)で感動を与えます。※以上6種類からなる演目の合間にはそれぞれ司会者が入り、マジックの歴史・分類、各マジシャンのプロフィールなどについて解説いたします。 ●【演出・脚本】加藤明彦</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
出演者	<p>①【鳩のマジック】1名～2名:キタノ大地</p> <p>②【ジェネラルマジック】1名:TAKAO</p> <p>③【おしゃべりマジック】1名:ダーク広春</p> <p>④【和妻】1名～2名:きょうこ・和田奈月</p> <p>⑤【イリュージョン】2名～3名:キタノ大地</p> <p>⑥【司会】1名:小野加珠巳</p> <p>※各ジャンル(演目)に公益社団法人 日本奇術協会の正会員・準会員98名より抜粋されたスペシャリストが出演いたします。</p> <p>【スタッフ】協会スタッフ2名・音響スタッフ1名</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>【キタノ大地】</p> <p>舞台:「国立演芸場/国立文楽劇場/角座/大阪天満天神繁昌亭」 テレビ:NHK「上方演芸ホール」/NHK「わろてんか」(手品師役で出演)/関西テレビ/読売テレビ/KBS京都「夢・元気人」レギュラー出演(2019年)等、指導/監修:NHK「わろてんか」(マジック指導・監修)/テレビ東京:「石川五右衛門」(マジック指導・監修)/宝塚歌劇団:マジック指導・監修。</p> <p>【きょうこ】</p> <p>(公社)日本奇術協会「Best magician's festival」では3年連続、マジシャンズオブザイヤー第1位受賞。世界タイトルも数多く近年ではドイツ・モンテカルロ・フランス・ハリウッドなどの海外ゲスト出演。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 4 名	運搬	積載量: 1 t	
	スタッフ: 2 名		車長: 4.7 m	
	合計: 6 名		台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	
	7時～7時30分	7時30分～10時30分		13時～14時45分	5分～15分	15時～16時45分	17時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月
	10月		11月		12月		1月
	15日		15日		10日		10日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		50日
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>							
							
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合		権利者名		許諾確認状況		内部保有

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会 】

ワークショップのねらい	マジック(奇術)の不思議さを楽しんでもらうには、実際にマジックを鑑賞する事が大切です。児童・生徒に配布した教材テキストには、代表的なマジックの原理がいくつか表記されています。原理や基礎知識を学び、自己表現力や演出・構成力・コミュニケーション能力を養ってもらう事を意図としております。 ※実際には、令和元年においては保健室登校の児童がマジックに興味を持ちワークショップを通して他の児童とコミュニケーションが取れるようになった事例がございます。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	基本、全校児童・生徒。500名以上になると鑑賞位置によって集中力に温度差が出る場合があります。
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【A】マジックの理論編：奇術の基本原則より、代表的な7種類のマジックの原理を実演を交えて解説します。</p> <p>①「指先を使ったマジック」=仕掛けの無い道具で、指先の技術のみで行うマジックの実演・解説。</p> <p>②「道具に仕掛けがある」=道具自体に仕掛けがあるマジックの実演・解説。</p> <p>③「秘密のタネを使う」=仕掛けのない物に秘密のタネ(ギミック)を使って行うマジックの実演・解説。</p> <p>④「目の錯覚を利用する」=錯覚を利用した図形の道具を児童・生徒と一緒に目の前で起こる現象を体験します。</p> <p>⑤「理科の原理を利用する」=水をジュースに変える等、科学(化学)の原理を使ったマジックの実演。</p> <p>⑥「算数の原理を利用する」=数字を当てるマジック等、児童・生徒と一緒に実演。</p> <p>⑦「相手の注意をそらす」=いかに観客の目をそらすかの演技(ミスディレクション)の解説と実演。</p> <p>※以上のマジックは学校で学ぶ勉強が原理に繋がっている事を感じてもらいます。</p> <p>【B】マジックの歴史編：最古のマジックから現代のマジック(奇術)までの歴史を実演を交えて解説します。</p> <p>【C】実技編：教材を使いマジックを体験・習得してもらいます。]</p> <p>※基本、全校児童・生徒が対象です。 ワークショップは本公演とは別日に2枠の時間を使い1時限目＝【A】と【B】を実施。 2時限目＝【C】を実施いたします。 また下級生・上級生の温度差を無くす対策として「1年・6年」「2年・5年」「3年・4年」ペアにしたり、縦割り班で対応お願いしております。</p> <p>※学校からの要望があれば、時間の短縮も可能です。 その場合は上記の内容から抜粋して時間内に納めます。</p> <p>※本公演当日に実施する事も可能です。 その場合は全校児童・生徒ではなく、1つの教室で行いますので、参加人数に制限を設ける事があります。その場合は上記の内容から抜粋して時間内に納めます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>●基本、全校児童・生徒を対象にしています。令和元年度に於いては保健室登校の児童がマジックに興味を持ち、ワークショップを通して他の児童とコミュニケーションが取れる様になった事例があります。</p> <p>●ワークショップに於いてマジックの歴史や原理を知っていただき、国語、理科、算数、社会、体育と学校での科目がマジックといかに結びついているか。すべての教科が基本になっている勉強の大切さを知っていただきます。</p> <p>●近年ではコロナウイルスの影響で参加出来ない学年やクラスにはZOOM等を使いリモートで指導しました。今後も状況によりリモートで行う事も可能です。その際は事前に通信の準備をお願いいたします。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 当協会は 本事業を全会員の協力を得ている事を徹底しております。(日本全国にいる会員の中からなるべく開催地近くの会員を優先しています)各会場での出演者及び演目はよりバラエティーに富んでいます。同時に公演の継続によって各学校の児童関係者がマジックの新たな課題やテーマを持って発展的にマジックを行う事が可能になります。</p> <p>●マジシャンにとっても当該事業に於いては、普段学ぶことが出来ない他流派の技芸の取り組み方を直接受ける事でマジック(奇術)の奥深さを知る事が出来る等、大変ためになる事業です。また、当該事業で推進する多様な演目と見せ方は奇術文化の継承に繋がっております。</p> <p>◎本事業での利点:・マジックの公演を行う事で新たな鑑賞者(マジックファン等)を育成出来る。・新人・ベテラン・他流派のマジシャン同士の交流も生まれる。この様な効果を生むために、事務局は変化に富んだ顔付け(座組)を行うことを心がけておりこうした事を実現していくためには、個々のマジシャンや協会員の意識改革も必要です。事務局としてはより積極的に公演に参加する事を周知徹底し、日頃の努力が実績として実っていく事の大切さも協調していきたいと考えております。</p> <p>※本事業により将来児童・生徒が社会に出た時に、周りとうまくコミュニケーションを取り、社会に馴染める様にと考えております。以上が申請の理由です</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>●学校との綿密な事前連絡の徹底を心がけております。公演の実施にあたり、計画書以外に大まかな公演開催の流れを書いた事前指導要綱(ワークショップや本公演の仕込みからの流れを映像にしたDVD等)をお渡しして、それをもとに電話やメールを使って入念なご案内をさせていただきます。</p> <p>●学校との連絡をより密にして、変化に富んだプログラム編成に努力して公演の成果をより高めていきたいと考えております。5つのカテゴリーごとのプログラムの変化だけでなく、全体を通して観た場合の流れの変化・公正・演出の妙も出せるように工夫しております。これらの工夫が児童・生徒達の興味を呼び起こすように創意工夫に富んだプログラムの構成にしたいと考えております。</p>
--	--

別添	あり
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

公益社団法人 日本奇術協会

】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>① 離島・へき地等における公演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成26年度 沖永良部和泊町立大城小学校・種子島南種子島町立基南小学校 南種子島町立大川小学校 ●平成30年度 壱岐市立鯨状小学校 ●令和元年度 岩国市立清流小学校・下関市立角島小学校 に於いて 夢と希望の創造空間「Magic of MAGIC-Compilation-」を公演。 <p>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、 小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小規模な体育館やフロアではパーティーや当協会のスパイダー等、 を使い舞台袖を作りステージ周りのステージ環境を作ります。 ●これまでの少人数のワークショップに於いては、より親密に指導することが利点です。 児童・生徒に於いては、細心の注意を払った対策を講じます。 安全安心を最優先としています。 ●先生と児童・生徒と一緒にテキスト教材を使いマジックを体験する事ができます。 <p>③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鳩のマジックとイリュージョンを同じ演者が行う事でコストを削減いたします。 ●スタッフが音響操作をする事により経費を削減いたします。搬入・搬出をスタッフ、演者全員で行います。(演者、スタッフを減らした事により搬入・搬出等に10分程度の遅れが出る場合があります) <p>【注意配慮】上演にあたり、児童・生徒が演目及び設営、撤収時の作業については安全を確保します。※事前に学校担当者と入念な打ち合わせを行い相互に周知徹底をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上演中の火災発生については、学校で決められている火災対応マニュアルを遵守し児童・生徒及び関係者の安全を確保するものとする。 ●日程調整については、台風や自然災害、ウイルス感染等々によりやむを得ずの日程変更にも柔軟に対応いたします。
---------------------	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会】

実施日程

10月 7日(月)	ひょうごけん 兵庫県	あまがさきしりつむねこうがっこう 尼崎市立武庫中学校
10月 8日(火)	ひょうごけん 兵庫県	いながわちよろつまつおだしいょうがっこう 猪名川町立松尾台小学校
10月 10日(木)	こうちけん 高知県	じゆうがっどう とさ自由学校

～ 12月3日は「奇術の日」です～

「奇術の日」の意味・由来とは
 1990年に日本奇術協会が、手品やマジック(奇術)を披露する際「ワン(1)ツー(2)スリー(3)」と掛け声を発することから、この日を記念日として制定しました。
 当協会では記念日に、マジシャンや奇術愛好家たちを招き懇親会を開催してまいりましたが、2008年からは普及活動の一環として一般の人に向けた「奇術の日無料演進公演」を実施しています。

この法入は、奇術に関する公演を開催するとともに、研修会等の開催により人材の育成を行うこと等により、奇術の普及振興を図り、もって我が国文化の発展に寄与することを目的とする。



令和6年度
 舞台芸術等総合支援事業
 学校巡回公演
 公益社団法人 日本奇術協会
 夢と希望の創造空間 「Magic of MAGIC - Compilation -」

「学校巡回公演事業」
 全国の小学校・中学校においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行う事を通じて将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域移住者の解消を促進することを目的としております。
 ワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。
 また、実演においては子供たちが参加できる工夫を行います。



- 学校の希望により、午前中公演の希望があった場合は前日仕込みが必要になります。所要時間は約3時間必要です。
 事前に要相談し取り決めて円滑に進めていきます。
- 弊協会の活動記録は【シートNO1】に記載のURLをご参照ください。

ワークショップの様子

